

「第3次ながおか男女共同参画基本計画」進捗状況に関する質問・回答						
事業番号	事業名	質問・評価等	回答・対応	担当課	委員名	回答方法
		<div>・全般について：全体に、記述がこれまで以上に具体的になってきているので、大変良いと思います。しかし、個々の課題の進捗状況と対策、次年度へ向けた計画としては、これでもよいのですが、例年の進捗管理に慣れが出てきたのか、個々の課題の「男女共同参画の観点からの」理解とその観点からの進捗管理・対策という点では、問題が明確に示されてはいないと思います。各課に、その課題の「男女共同参画の観点からのとらえ方」を再度明確にしていきたいと思います。</div> <div>・表記について：決算額の桁数が多くなりすぎて、セルの中に＃で示されてしまっている項目が散見します。正しい数値をお示してください。</div> <div>・困難な問題を抱える女性支援基本計画に関わる部分では、他の事業との関連が問題となるものが多数あるようです。この計画に基づいて新たに作った項目であるためでしょうが、具体的な内容がまだ乏しいようです。関連する他の事業や、これまでこれに代わる役割を果たしてきた事業との関係を明示することが、来年度からの事業の具体化のために必要であろうかと思います。</div>	<div>・各課題における「男女共同参画の視点からのとらえ方」について、再度明確にするよう修正してまいります。</div> <div>・決算額の＃について修正しました。大変失礼しました。</div> <div>・困難な問題を抱える女性支援基本計画に関わる事業について、具体的な表記に修正します。</div>	人権・男女共同参画課	石川委員	文書
2	メディア・リテラシー（情報読解能力）の学習機会提供	メディアリテラシーの学習機会提供という課題ですが、示されているのは事業01と同じで、庁内のチェック体制です。	男女共同参画から見たメディアリテラシーは、「男性は仕事、女性は家庭」という固定的な性別役割分担イメージの発信によるアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）を防ぐことを目的としており、チェックを通じて、庁内職員向けにメディアリテラシーの啓発に取り組んでいます。事業01の内容との整理に向け検討します。このほか、地域企業向けに、アンコンシャス・バイアスの研修を行いました。	人権・男女共同参画課	石川委員	文書
4	家庭教育活動事業	講演会の参加者が減って、WEB講座の視聴が爆発的に増えていますが、これをどう見ますか？	講座のアンケートにおいて、「本人や子どもの体調不良で参加できないのが残念。」、「オンラインなら、いつでも視聴できる。」といった声があったため、WEB配信に切り替えたことにより、集合型での講座・講演会の参加者が減少しています。 その一方、WEB配信については、令和5年度は冬休み期間に小学生を対象にしていたましたが、令和6年度は夏休みは小学生を対象に、冬は中学生を対象に実施したため、視聴数が増加したものと考えています。	子ども政策課	石川委員	文書
5	地域人材教育活動事業	地域リーダーの育成数が前年同様、前前年より10人も減ったままですが、予算の執行額は倍以上になっています。どう考えたらよいのでしょうか？ 講座の開催回数はどのように決定されていますか？	本講座は2箇年で人材を育成するものですので、育成数は令和5年度と6年度は同数（同人材）になります。また、カリキュラムも2箇年で修了するように組み立てており、特に2年次では受講者が講座を企画・実践する機会を多く設けている等の理由のため、令和6年度の執行割合が高くなっています。令和4年度の執行額が高い理由も同様です。	中央公民館	石川委員	文書
6	小・中学校の児童生徒への男女共同参画学習	前年と同じ文章ですが、具体的に説明してください。	道徳や保健体育、社会科の授業を中心に、異性についての理解を深め、男女平等や男女共同参画に関する学習を実施しています。例として、小学校では道徳の授業でジェンダーに関する理解を促進する材料を用い、中学3年生では公民の授業で「男女共同参画社会基本法」について学びます。また、養護教諭による性に関する視点での人権教育も行われております。	学校教育課	石川委員	文書
7	小・中学校の教職員を対象とした男女共同参画に関する研修	講演の出席者数は増えましたが、講演の具体的な内容が見えてきません。前年と比べ、テーマや記述が抽象的なようです。	保育や教育の現場において、多様な育ちや発達の子どもの対応で戸惑い、支援の方向性を見失いそうになるという職員からの声をもとに講演が行われました。「人はもともと多様である」「みんなちがってみんないい」という視点を改めてもち、子どもたちをそのまま承認することで、子どもたちの多様性の理解や職員のよい関わり方に繋がることを事例紹介をもとに伝えていただきました。	学校教育課	石川委員	文書
8	幼児への男女共同参画教育	研修会の対象者を園長から園長級クラスに拡大したのはよかったと思います。	※進捗管理表の実施計画について修正しました。	保育課	石川委員	
9	幼稚園・保育園・こども園の保護者を対象とした男女共同参画の意識啓発	記述が具体的になっています。		保育課	石川委員	
10	政策方針決定過程への女性参画割合向上	審議委員の女性比率上昇はよい成果でした。未達成の審議会に向けてどのような働きかけをした結果が数値の上昇につながったのかを教えてください。	例年、前年度登用率を発表する9月と次期委員選定前の2月に、全庁的に目標値や女性登用の啓発を通知しています。また、委員の更新時において、目標未達成の審議会については当課に協議を行うなど、全庁的に職員及び推薦元団体が女性登用への意識が浸透してきたことが理由と考えています。	人権・男女共同参画課	石川委員	文書
11	女性管理職員の登用率の向上	登用率17%は成果でした。記述も具体的です。		人事課	石川委員	

「第3次ながおか男女共同参画基本計画」進捗状況に関する質問・回答

12	コミュニティでの女性の参画促進	コミュニティセンターの数が増えていますが、女性センター長が一人減りました。具体的な経緯は？	支所地域のコミュニティセンター等開設に伴い、コミュニティ推進組織事務局長1名（越路）、コミュニティセンター長2名（山古志、和島）を採用したため、40名から43名に増加しました。 女性センター長については、令和6年度末に1名退職し、後任が男性となったため、1名減となったものです。	市民協働課	石川委員	会議
13	防災分野での女性の参画促進	女性委員率100%の母数は？ 率が100%になったのに委員数が前年と同数というのはどういうことなのか説明してください。	8号委員の3機関（3名）における女性委員率が100%となったものです。 また、各機関の人事異動等に伴う女性員数の増減が、第1号～第8号委員全体を合算したところ、前年と同数となったものです。	危機管理防災本部	石川委員	会議
14	農業分野での女性の参画促進	女性委員数は徐々に増えていますが、一昨年・昨年・本年度の実施計画と、文面がほぼ同じです。女性委員数が増えていることと施策との関係が見えてきません。	農業の課題は以前から変わっていませんが、課題解決に向けた手段は、時代とともに変化しています。この解決手段にあたっては、会議や研修会などを通じて、女性の意見を常に反映できるよう、引き続き参画を促進していきたい考えです。	農水産政策課	石川委員	文書
15	女性管理職登用の推進【女性活躍】	記述は具体的ですが、セミナー等の参加者数は減っています。予算も徐々に減っているようです。予算の件とセミナーの実態について説明をお願いします。	新潟県女性財団が実施する同様の事業との重複を避け、かつ同財団と連携（共催）して実施することにより、事業実施の効率化と予算の削減効果を図っております。一方で削減効果額をもとに事業No. 31を拡充するなど、メリハリを付けた事業実施と予算措置に努めております。（人権・男女共同参画課）	人材・働き方政策課、人権・男女共同参画課	石川委員	文書
16	雇用の場におけるダイバーシティの推進【女性活躍】	令和5年は「研修会を7社」、令和6年は「コンサルタントを2社」となっていますが、これはどう違っていて、どう評価すべきなのか、説明をお願いします。	令和5年度は、委託予算の範囲内で社内研修会の講師派遣とコンサル両方の実施を見込んでいましたが、コンサルの希望がなく、研修会の希望が多かったことから、研修会のみ7社の実績となったものです。令和6年度も同条件で企業の希望を募ったところ、研修会の申込が6社、コンサルの申込が2社でした。	人材・働き方政策課	石川委員	文書
17	女性農業者向け研修会の開催支援【女性活躍】	予算額は徐々に減っていますが、執行額が大きく増減しています。このこととセミナーや研修の参加者数は関連があるといえるのでしょうか？	毎年度の事業については、予算額が確定後に、実施内容を精査して決定しています。セミナーや研修の内容については、現状を踏まえて実施内容を都度決定していますので、執行額及び参加者数は、内容によって多少の増減が生じています。	農水産政策課	石川委員	文書
18	家族経営協定の締結促進【女性活躍】	家族経営協定の締結数はほぼ倍増ですが、締結後のフォローはどうなっていますか？	家族経営協定を締結された認定農業者の方においては、5年ごとの更新の際に、経営の状況や協定継続の意思確認などヒアリングを実施しています。	農水産政策課	石川委員	文書
19	女性消防団員の育成	女性消防団員数は大学での取り組みがネックのようです。こういった対策をとっていますか？	毎年春先に市内の各大学及び専門学校へ赴き、入団促進の説明を行うとともに、卒業後も継続して活動できる旨の説明を行っています。 今後はさらに、退団の意向を示した時に、長岡市に就職や引き続き在住する学生に対して、消防団活動の意義を改めて説明し、消防団員としての継続活動を促していきたいと考えています。	消防本部総務課	石川委員	文書
21	男女のニーズの違いに配慮した避難所環境の整備	着実な進展が見られますが、予算の減少が気になります。	・災害備蓄品について、R6年度より購入計画を作成し、購入数を平準化したため、年度毎の予算額が減少しました。 また購入数は、その時点での市内人口を基に算出しているため、減少を続けていく見込みです。（危機管理防災本部） ・避難所運営に男女共同参画の視点を活かすため、地区防災センター配置職員等向けに行っていた講座について、講師による対面方式から、内閣府が公開している教材を活用した動画視聴方式に変更したため予算額が減少しました。この変更により、より多くの職員が研修を受講できるようになりました。（人権・男女共同参画課）	危機管理防災本部、子ども政策課、人権・男女共同参画課	石川委員	文書
22	ながおかヘルシープラン21の推進	健康支援の対策としてはこれで十分でしょうが、男女共同参画における健康問題としては不十分です。男女共同参画についてのお考えを示すべきです。	令和6年度から開始した第3次ながおかヘルシープランでは「女性の健康づくり」の取組を明記しました。女性はライフステージごとに女性ホルモンが劇的に変化する特性を踏まえ、若年女性のやせが妊娠期の健康がこどもに影響することや、骨量が減少することで骨折しやすくなる危険性等の健康課題の解決が必要です。壮年期男性の高血圧、糖尿病の健康課題もあり、性差や年齢の特性を分析しながら、今後も地域や職域等と連携し、普及啓発に取り組んでいきます。	健康増進課	石川委員	会議
23	子宮頸がん・乳がん検診	前項と同じです。事柄が女性特有の健康課題ですから、この課題に対して、単に健康増進支援としてではなく、男女共同参画の観点からどのように対処されているのかを示してください。	性差に応じた健康課題に対し、女性のみの検診日を設定したり、保育ボランティアをつけたり、受診しやすい環境を整備しています。男女が互いの性差に応じた健康課題を理解するような対応は実施しておりませんが、各世帯に配布される健康カレンダーの冊子を見て家庭内で検診をきっかけに性差の疾患を理解し、健康増進に取り組んで欲しいと考えています。 また、がんの早期発見・早期治療は、出産・育児、趣味や仕事などの社会参加の制限の防止につながることから、検診を積極的に受診してもらえるよう取り組んでいます。	健康増進課	石川委員	文書
24	妊娠・出産期における健康支援	相談数の減少等は単純に妊娠・出産数の減少に関わっているのでしょうか、それにしても、電話相談の件数が前年比1/3ほどというのはどうしたことでしょうか？	こどもの数の減少や、子育ての駅等相談窓口の多様化により電話相談件数が減少していることが考えられます。また、子宮頸がんの予防接種について、R5までは本事業における電話相談件数として計上していましたが、R6は子宮頸がんキャッチアップ最終年度で、駆け込み接種のための問い合わせが急増したため、通常の制度案内としての対応とし、本事業における電話相談対応としての計上としなかったため、相談件数が減少しています。	こども家庭センター	石川委員	会議

「第3次ながおか男女共同参画基本計画」進捗状況に関する質問・回答						
25	思春期・青少年相談	当該事業の問題に男女共同参画の観点からどのように取り組まれているのか。	男女共同参画の観点にあてはまる相談はありませんでした。今後、相談がありましたら対応していきます。	学校教育課	石川委員	文書
26	介護予防事業	当該事業の問題に男女共同参画の観点からどのように取り組まれているのか。	男性の参加が少ないため、男性限定の事業や、夫婦で参加できる事業など、男性が参加しやすい事業を検討していきます。	健康増進課	石川委員	文書
31	多様な活躍に繋がる学びや体験の機会の提供【女性活躍】	講座や企画の名称は、キャッチコピーでもあるので、人々に関心を持っていただくうえで重要です。ですが、英文が多かったり、カタカナが多かったり、必ずしも内容を明示できてはいなかったり、といった問題はあります。ここ数年の講座のタイトルの変遷は、内容とどのようにかわっているのでしょうか？ Waffle Campってどういう意味でしょうか？ Life Map Cafeまでは何となくわかりますが……	講座等の名称は、事業委託先のアイデアなども確認しながら付けています。なお、女子中学生向けのウェブサイト作成講座「Waffle Camp ホームタウン in 長岡」については、事業委託先である東京都のNPO法人Waffleが、全国的に展開している同事業（1日でITの楽しさとキャリアに触れる、女子＆ノンバイナリーの中高校生限定プログラミングワークショップ）の名称をそのまま使っているものです。	人権・男女共同参画課	石川委員	文書
32	多様な活躍に向けた啓発・情報提供【女性活躍】	シンポジウムの参加者数が減少傾向ですが、その原因と対策は？	参加対象を「企業の経営者、管理職、人事労務担当者など」としておりましたが、企業の経営層しか参加できないような限定的な印象を与えていたと考えております。今年度は「市内に在住、通学、通勤する方」とし、誰でも参加できるような表現としました。昨年度同様、あらゆる広報媒体を活用して周知を図ってまいります。また、基調講演には機械設備製造業の先進企業を招くなど、より市内の産業界と親和性が高く、事業展開の参考となるような内容としております。	人権・男女共同参画課	石川委員	文書
33	就職・再就職支援【女性活躍】	令和6年度の「ながおかマッチボックス」での採用件数が延べ8,978件と、前年比5倍弱となっています。すごい実績ですが、こうなった状況を説明してください。	令和5年度は9月から半年間稼働した実績であり、令和6年度は1年間本格稼働したことにより伸びたものです。また、認知度が向上したことによる登録者増と、隙間時間を活用した勤務ニーズの掘り起こしがうまくいったことから、採用件数が伸びたものを考えられます。	人権・男女共同参画課、人材・働き方政策課	石川委員	文書
34	起業・創業支援【女性活躍】	参加人数の増減について説明してください。	令和6年度は、新規事業として、女性経営者や女性起業家及び、経営に興味のある女性学生等を対象としたイベントを初めて開催し、17人が参加しました。 ※進捗管理表の数値を修正しました。	産業イノベーション課	石川委員	文書
34	起業・創業支援【女性活躍】	女性経営者や女性起業家及び経営に興味のある女性学生等を対象に…とありますが、地域おこし協力隊の女性たちには働きかけはありますか。地域おこし協力隊は長岡市に魅力を感じてきていると、私は思っています。ぜひ、長岡の地で起業につなげて在住していただきたいという思いがあります。	本イベントは幅広く周知を行い、当日は、地域おこし協力隊の女性の参加もありました。地域おこし協力隊が長岡の地で起業につながるよう、地域おこし協力隊起業・事業承継支援補助金制度の周知等に努めてまいります。	産業イノベーション課	樋熊委員	会議
35	ワーク・ライフ・バランスの推進【女性活躍】	令和5年度にはパネル展示も行っていますが、令和6年度は行わなかったのでしょうか？	令和6年度はより多くの方からパネルを見てもらえるよう、市ホームページで紹介するWEBパネル展として開催しました。	人材・働き方政策課、人権・男女共同参画課	石川委員	文書
36	働きやすい職場環境推進事業【女性活躍】	No.16に同じ		人材・働き方政策課	石川委員	
37	ハッピー・パートナー企業登録促進【女性活躍】	令和6年度のハッピーパートナー企業登録数が示されていません。	市内の登録企業は令和7年3月31日時点で168社です（前年度比17社増）。 ※進捗管理表の実施状況・評価に追記しました。	人権・男女共同参画課、人材・働き方政策課、契約検査課	石川委員	文書
38	男女の介護・育児と仕事の両立支援【女性活躍】	No.16とNo.33に同じ		人材・働き方政策課	石川委員	
40	コミュニティ推進事業【女性活躍】	開催時刻が明示されたのはよかったです。		市民協働課、人権・男女共同参画課	石川委員	
42	育児と仕事の両立支援【女性活躍】	研修の充実がうかがえます。		人事課	石川委員	
43	ファミリー・サポート・センター事業【女性活躍】	依頼会員も提供会員も、提供回数も着実に伸びているのがわかります。		子ども政策課	石川委員	
44	子育て家庭からの相談に対する支援の充実【女性活躍】	着実です。		こども家庭センター	石川委員	
45	子育ての駅の運営【女性活躍】	単なる「子育て」ではなく、男女共同参画の視点からする子育てのあり方について、しっかり示してください。	※進捗管理表の今後の課題・取り組み方向等、実施計画に追記しました。	子ども政策課	石川委員	会議
46	男性の育児に対する支援の充実【女性活躍】	パパ向けの講座名が途中で変更になっているようですが、実際はどのようなのですか？	令和4年度にパパ向けNP講座を実施しましたが、参加者が少なかったことから、令和5年度から、父親も参加しやすく、かつ夫婦で共に学べる機会を設けるため、子どもとの上手なコミュニケーション講座（単発型）に変更して実施しています。	こども家庭センター	石川委員	文書

「第3次ながおか男女共同参画基本計画」進捗状況に関する質問・回答

48	母子保健推進員活動【女性活躍】	開催回数が増えているのに、令和7年度予算が減らされているようですが、どうしたのでしょうか？ 予算編成時にわかっていたのは令和5年度の成果だからでしょうか？ 同様の状況なのにNo. 50では増額になっています。	予算には、活動費以外の需用費等も含まれるため、回数に比例した予算とはなっていません。	こども家庭センター	石川委員	文書
49	保育園併設地域子育て支援センター等の運営【女性活躍】	男性の育児参加が問題なのではないでしょうか？ 父親向けの「パパナビ」も必要では？	女性活躍には、男性の育児参加も大切だと考えています。「ママナビ」は母親のみが参加できる場ではなく、誰でも参加できる場のため、父親も参加しやすいような環境を検討していきます。	保育課 こども家庭センター	石川委員	会議
50	多様なニーズに応じた保育の実施【女性活躍】	他の項目についても言えますが、出生数の実数が示されていないと、講座の参加者が何人、相談件数が何件等という数字だけでは、実態を把握しきれません。	より全体を把握しやすくするため、保育対象年齢の0～5歳児数を掲載します。	保育課	石川委員	文書
51	高齢者や介護者の相談窓口の運営【女性活躍】	相談の内容は？ その相談は男女共同参画の観点からみてどういうものであったのでしょうか？	在宅介護において高齢者の娘や嫁がその役割を担い、女性への負担が過度になることが未だ見受けられます。その場合、介護サービスの導入や家族間の調整等の支援を行い、性差による過度な介護負担が生じないよう対応しています。	長寿はつらつ課	石川委員	文書
52	DV防止の意識啓発の推進	配偶者暴力相談支援センター等へのDV相談件数が減少していますが、その理由をどう考えますか？	例年、概ね800件～900件で推移しており、R6年度も例年並みの数値と考えております。R5年度は同年5月6月に非常に件数が増えています。その頃はコロナの5類移行などで落ち着き、社会に出るなどの社会環境の変化により相談に行く方が増えたものと考えています。	人権・男女共同参画課	石川委員	文書
52	DV防止の意識啓発の推進	啓発のチラシ・パンフレットの配布、設置について女性用トイレに啓発のカードなどを置いていると思いますが、塾の女性用トイレにも働きかけをいて頂きたい。子どもたちが利用するトイレに置いていただきたいと思います。	一部駅前塾等で試験的設置や、若年女性にDV相談窓口を周知できるよう、長岡教育情報プラットフォーム「こめぷら」やSNS等を活用した啓発を検討してまいります。	人権・男女共同参画課	樋熊委員	文書
53	外国人、障害者、高齢者に配慮した相談窓口の周知	外国人向けのFM放送は英語・中国語だけで十分でしょうか？ 長岡市在住の外国籍・外国出身者の内訳や人数の統計数値はありますか？	国の調査では、外国人への情報発信で最も効果的な言語はやさしい日本語となっており、本市においてもやさしい日本語を積極的に活用しています。なお、長岡市在住外国人については、国籍、性別、在留資格毎の人口を把握しています。また、FMながおかにおける多言語放送は、令和6年度をもって事業終了していますが、災害時などの重要な情報発信については、市広報・魅力発信課の「長岡市からのお知らせ」枠とSNSの活用も含めて適切に対応していきます。	国際交流課、福祉課、長寿はつらつ課	石川委員	文書
54	学校における性暴力やセクシュアル・ハラスメントの防止	長岡市内の公立学校では性暴力やハラスメントは起こっていないのでしょうか？ 例年と同じ文章が繰り返されているだけで、どのような意識啓発をおこなって、どのような成果があるのか、示されていません。今問題になっている、教職員による盗撮について、長岡市の実態調査は行われましたか？ 隠しカメラの点検はなされましたか？	市内公立学校より性暴力やハラスメントの報告は受けておりません。各校では非違行為根絶研修年間計画により管理職を中心に研修が行われています。学校教育課は、市に新しく採用となった職員を対象に倫理研修を行っています。また、盗撮事案を受け、市として通知を発出し、職員のカメラ使用、個人情報取扱等に関する指導を行いました。	学校教育課	石川委員	文書
55	相談窓口の周知と情報発信の強化	新しく設けた項目では、これまでに同様の対策が行われてきたのかどうか、行われてきたのなら、それらとのすみわけをどうするかなど、具体的なことが示されるべきでしょう。	令和7年3月策定の「困難な問題を抱える女性支援基本計画」に追加した取組みであるため、このたび新規で掲載したものです。R6年度まではNo.52「DV防止と意識啓発の推進と相談窓口の周知」だったものを、R7年度からはNo.52「意識啓発の推進」及びNo.55「相談窓口の周知と情報発信の強化」へと分け、強化を図りました。No.55は、チラシ・カードのほかSNS等を活用し、多世代に向けて情報発信を継続するとともに、問題を矮小化して、支援につながらない人がいるため、相談のハードルを下げる工夫としてホームページなどに支援内容や相談事例を掲載することで安心して相談できるように取り組みを行います。	人権・男女共同参画課	石川委員	文書
56	安全・安心な相談窓口の体制整備	No. 52の再掲ですか？	配偶者暴力相談支援センターの相談件数をいずれも掲載しておりますが、再掲ではありません。No.56は夫婦関係や家族関係などの様々な悩みの相談を受けるウィルながおかの体制整備についてです。No.52は相談窓口の周知などです。	人権・男女共同参画課	石川委員	文書
57	児童生徒の被害相談への対応・支援	No. 54との関係は？	学校における性暴力やセクシュアル・ハラスメントにあてはまる相談はありませんでした。今後、相談がありましたら対応していきます（学校教育課）。	学校教育課	石川委員	文書

「第3次ながおか男女共同参画基本計画」進捗状況に関する質問・回答

57	児童生徒の被害相談への対応・支援	SOS発信ができるように相談窓口の周知を取り組んでいます。被害が発生する前に児童生徒自身が、「これはハラスメントかも。」と思ったり、感じたりできるようにするには児童生徒に学習の機会が必要だと思います。この計画の中では事業No.06、事業No.08で取り組まなくてはならないと思います。	学校では、複数の教科や教育活動の場面で、様々な職員がその専門性に併せて、男女協働参画学習を行っています。児童生徒の人権意識がより醸成されるよう学習を積み重ねてまいります。（学校教育課） 【事業No.08で内容を追記しました。】 保育課では、文部科学省による「指導の手引き」や研修等を通じて、保育士が正しい理解に努めるとともに、児童に自分の体で大切なところは見せたり触らせたりしないことや、嫌なことをされた場合には、嫌だということ等を伝えています。（保育課）	学校教育課（保育課）	樋熊委員	会議
58	職場におけるハラスメント相談への対応	相談件数の増加をどのように考えますか？相談の傾向は？	令和6年度から市政だよりで毎月、仕事・職場の悩み専門相談を周知するようにしたことで件数が増加したと考えています。市政だよりを見て来たという人は令和6年度10件ありました。また、令和6年12月から予約方法を電話からフォームに変更したことで予約しやすくなったことも増加に繋がっていると考えています。相談の傾向としては、職場の人間関係、再就職が多い傾向が続いています。また男性の相談者が増えています。	人権・男女共同参画課	石川委員	文書
60	配偶者暴力相談支援センターの運営	相談件数自体は減っているようですが、その内容は？なぜ減ったと思われますか？	No.52の（石川委員への）回答に同じ。	人権・男女共同参画課	石川委員	文書
61	関係機関と連携した相談の実施	令和5年度には対応件数の表示がありますが、令和6年度にはありません。対応すべき事案がなかったということでしょうか？	令和6年度の高齢者虐待対応において、必要と思われる方へ配偶者暴力相談センター等を紹介し、また配偶者暴力相談センター等との情報共有を随時行っておりますので、役割分担をして対応した事案はありませんでした。（長寿はつらつ課）	国際交流課、長寿はつらつ課、福祉課、こども家庭センター	石川委員	文書
62	こころの悩みに関する相談と啓発の実施	重要な課題ですが、この課題における男女共同参画上の問題点はどこにありますか？	・長岡市で自殺で亡くられる方は、男性が女性の約2倍（男性は働き盛り世代が多く女性は高齢に多い傾向） ・こころの相談会に来所する方は、女性が男性の2倍、講座の参加は女性が多い現状があり、男性の相談へのつながりにくさ、講座等への参加の少なさが課題である。 ・そのため職域関係機関と連携し、相談会の周知、「相談すること」の大切さの啓発、男女問わず相談しやすい相談会の工夫を今後も行っていきます。 ※進捗管理表の実施計画に追記しました。	健康増進課	石川委員	文書
63	必要な支援につながる働きかけの実施	類似の事業がほかにもありましたが、それとの関係は？なぜ、令和7年度の新設課題なのですか？表現が抽象的・総花的なのはなぜですか？	令和7年3月策定の「困難な問題を抱える女性支援基本計画」に追加した取組みであるため、このたび新規で掲載したものです。困難な問題を抱えているにも関わらず、問題を矮小化して未だ相談に繋がっていないような女性を掘り起こして（早期発見して）相談に繋げるために、アウトリーチの観点から支所地域などに出向いて交流の場を作っていく取組みとして、他の類似事業との線引きをしております。 ※進捗管理表の実施計画を具体的に改めました。	人権・男女共同参画課、子ども政策課	石川委員	文書
64	自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金	給付金の取得件数が増えているのは成果とみていいでしょう。ところでこの事業における男女共同参画の課題は何ですか？	ひとり親世帯は経済的に厳しい状況に置かれることが多く、自立支援教育訓練給付金等の就労支援は重要です。しかし、制度の認知度が低いと思われる点を課題として認識しており、対象者に対するPR方法や関係機関の連携強化などを検討して参ります。	生活支援課	石川委員	文書
64	自立支援教育訓練給付金・高等職業訓練促進給付金（No.27の再掲）	令和7年度予算が令和6年度予算の2倍近くに増額されていますが、それだけ希望者が多いということでしょうか。また、令和6年度は希望者全員が受給できたのでしょうか。	・令和6年度において、当初予算編成時に見込んだ人数より多くの希望者がいたことを踏まえ、令和7年度予算を増額しました。 ・令和6年12月に補正予算で対応したため、希望者全員が受給することができました。	生活支援課	横澤委員	会議
65	母子・父子自立支援プログラム策定事業	就学につながった人たちのうちの何人が就労にまでつながっているのでしょうか？就学後のフォローの実際をお教えてください。	令和6年度のプログラム策定対象者は13人でそのうち10人が現在就学中で、まだ就労には至っておりません。また、令和5年度以前のプログラム策定対象者で令和6年度中に就職した方は、2名となっています。就学後のフォローとしては、就労や資格取得について、ハローワークと連携しながら、対象者のニーズに応じた支援を行っています。	生活支援課	石川委員	文書
66	DV被害者の心身の健康回復支援	令和6年度から、心理カウンセリング実施対象者の実数が示されるようになったのはよいことです。		人権・男女共同参画課	石川委員	
67	自立へ向けた生活再建への支援	この仕組みが新たに出てきた経緯を説明ください。これまでの同種の、あるいは類似の取組みとは何が違うのか。	令和7年3月策定の「困難な問題を抱える女性支援基本計画」に追加した取組みであるため、このたび新規で掲載したものです。困難を抱える女性に自立までの中・長期的な支援のための安全安心な居場所「ステップハウス」を提供します。 シェルターとは違い、携帯電話の使用や外出・通勤もできる比較的自由な環境で、カウンセリングを提供しながら、利用者の状態に応じて支援し、自立を目指していきます。 ※進捗管理表の実施計画を具体的に改めました。	人権・男女共同参画課	石川委員	会議

「第 3 次ながおか男女共同参画基本計画」進捗状況に関する質問・回答

68	不安を抱える女性の居場所づくり	①この事業は再掲ですか？ ②関連する諸事業との関係は？	令和 7 年 3 月策定の「困難な問題を抱える女性支援基本計画」に追加した取組みであるため、このたび新規で掲載したものです。 ①委員ご指摘のとおり、事業No.26にも記載しています。 ②行政機関に相談することのハードルが高く相談窓口にたどり着けない女性や支援が必要だと気が付いていない女性がいることから、安心して自由に自分の気持ちや悩みを話すことができる気軽に立ち寄れる居場所を設けます。参加者同士が互いの悩みや経験について話し合い、気持ちを共有することにより心の回復を図るものです。 ※進捗管理表の実施計画を具体的に改めました。	人権・男女共同参画課、健康増進課	石川委員	文書
69	関係機関・民間支援団体との連携・協力体制の強化	文面が毎年ほとんど同じなのはなぜですか？	※進捗管理表の実施状況・評価を具体的に改めました。	人権・男女共同参画課	石川委員	文書
70	D V 防止計画推進のための体制づくり	これも文面が毎年ほぼ同じです。「共通理解を図った」とありますが、どういう共通理解となったのかを示してください。	※進捗管理表の実施状況・評価を具体的に改めました。	人権・男女共同参画課	石川委員	文書
71	支援調整会議による連携体制の強化	関連他事業との関係を示す必要があるでしょう。	「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が令和 6 年度に施行され、令和 7 年 3 月に長岡市では困難な問題を抱える女性支援基本計画を策定したことに伴い、多様化、複合化する女性が抱える課題に対してさらに連携を強化し支援を行うため、長岡市パーソナル・サポートセンターなどの支援機関などを加え、これまでであった「長岡市DV防止ネットワーク会議」を廃止し、「長岡市困難な問題を抱える女性及びDV被害者支援調整会議」を開催することとしました。 ※進捗管理表の実施計画に追記しました。	人権・男女共同参画課	石川委員	文書
72	生活困窮者自立相談支援事業【女性活躍】	相談の仕方が多様化しているようです。さらなるPRの方法などにお考えはありますか？	・現在相談の仕方として、来所・訪問・電話・Eメール・ショートメール・LINE・手紙による相談を行っております。 ・PRについて、現状ではHPやチラシにより周知を行っており、昨年度は市内で支所、地域包括支援センター、障害者相談支援事業所などの支援機関に対しパーソナル・サポート・センターの事業説明を行い周知を行ったところです。引き続き効果的なPR方法について研究して参ります。	生活支援課	石川委員	文書
74	一時生活支援事業	関連する他事業との関係は？	・生活困窮者自立相談事業の中の一つのメニューであり、一時生活支援事業により衣食住の提供を受ける者は、自立相談支援事業を受けることを必須としています。 ・就労や住居確保に繋げることを目的とし、一定の期間内に限り、衣食住を提供するとともに、自立相談支援機関による効率的な支援（自立相談支援事業）を行っています。	生活支援課	石川委員	文書
79	男女共同参画政策推進会議の開催	これは再掲なりますか？	再掲ではありませんが、男女共同参画政策推進会議は、No.10の市の審議会等の女性登用率を高めることなどのために開催しています。	人権・男女共同参画課	石川委員	文書
81	支所との連携の充実	出前相談事業の回数が増えていますが、その要因は？	継続して相談してくださる方が増えたことで、相談回数の増加につながったと考えています。	人権・男女共同参画課	石川委員	文書